



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.334 2015.1.7

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

2015年 いっせい地方選の年 日本共産党の躍進で 地方から政治を変えよう



早朝駅頭で新年のあいさつをおこなう、そねはじめ都議(右)と、のの山けん区議 = 1月6日、赤羽駅東口

新しい年、2015年を迎えました。今年もよろしくお願いたします。この4月には全国でいっせい地方選挙がたたかわれます。一昨年の都議選、参院選、昨年末の総選挙に続き、今度は地方選でも日本共産党の大きな躍進を勝ちとり、地方から政治を変えるために全力をつくす決意です。(のの山けん)

いま日本の政治は、大きな転換点を迎えていると思います。

本格的な「自共 対決」の時代に

一昨年からの日本共産党の躍進の流れが示しているのは、第1に、国民の願いを無視して暴走を続ける自公政権への批判が広がっていることです。昨年、私たちがとりくんだ「北区民アンケート2014」では、消費税

増税、原発再稼働、集団的自衛権の行使など、安倍政権がすすめるどの政策にも、6割から8割の区民が反対している実態がうきばりになりました。第2に、自公政権への

対決軸を持たず離合集散を繰り返す日本共産党以外の政党への失望が広がっていることです。

こうした中で、本格的な「自共対決」の時代が始まっています。

区議選で共産党 の力を大きく

定数4減となる北区議選で日本共産党が9人の議席を維持できれば、議席占有率は20・45%から22・5%へと前進します。区民の声がまっすぐ届く区政の実現へ、区議会でも日本共産党を大きく躍進させて下さい。

日本共産党 志茂・赤羽後援会 **新春のつどい**

2月7日(土) 午後2時開会
赤羽岩淵中ランチルーム ●会費1000円

 衆議院議員 池内さおり	 都議会議員 そねはじめ	 区議会議員 のの山けん
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

【第2部】アトラクション
●歌謡漫談 東京ボーイズ **仲八郎**
●落語 春雨や半平太



445億円 の積立金は 暮らし応援に



北区民混声合唱団による演奏 = 1月5日、北とぴあ・さくらホール

北区賀詞交歓会で花川区長 区民にがまん強要 しながら開発推進

仕事始めとなった5日、北とぴあ・さくらホールで北区賀詞交歓会が開かれました。北区民混声合唱団によるコーラスと「北区のうた」にあわせた「北区さくら体操」が披露された後、花川区長が年頭にあたってのあいさつをおこないました。

花川区長はまず、昨年末の総選挙で「東京12区からはお2人の先生が、国政の舞台で、ご活躍をいただくことになりました」とのべ、壇上の池内さおり衆院議員を紹介。「今後も、地元北区の発展のために、ご尽力を」と期待を表明しました。

事業の「縮減・廃止」おしつける

続いて経済について言及した区長は、景気は「緩やかに回復」とする一方、北区の財政は厳しい状況が続くとし、「今後は、事業の縮減や廃止、また、事業と同様、公共施設についても、廃止や複合化といった大胆な見直しを検討していかざるを得ない」などのべました。しかし、実際には北区の積立金（主要5基金）

残高は、13年度末で445億円にも達しており、今年度末には450億円を突破して過去最高となることは確実となっています。偽りの「財政危機」論をふりまきながら、区民にがまんを強要することには道理がありません。

「防災」道路、駅前開発は推進

一方、まちづくりの課題では「防災まちづくり」と「駅周辺のまちづくり」の推進を表明。住民の声を聞かず、防災にも役立たない特定整備路線（73号線・81号線・86号線）や、超高層ビルを中心とした十条駅西口再開発と埼京



来賓として壇上で紹介された池内さおり衆議院議員

線の鉄道立体交差化事業、庁舎建設を含めた王子駅周辺の再開発を積極的にすすめるとなりました。北区は「財政が厳しい」といいながら、これまで十条まちづくりと新庁舎建設に毎年20億円の積立をおこなってきました。

日本共産党は、積み上がった基金は区民の暮らし応援のためにこそ活用すべきと提案しています。

（のの山けん）